

主な医療的ケアの種類

種 類	内 容
吸引 (痰・唾液など)	筋力の低下などが原因で、自力で痰などの排出が困難な場合に、口腔、鼻腔から吸引機で痰などを吸引する
経管栄養 (胃ろう、腸ろう、鼻腔など)	摂食・嚥下の機能に障害があることが原因で、口から食事を摂れない、十分な量を摂れない場合などに胃や腸、鼻腔にチューブを通して流動食や栄養剤をいれる
吸入 (薬剤)	痰を切れやすくするために機器(ネブライザー)などを使い、薬剤を吸入する
人工呼吸器	呼吸機能の低下が原因で、うまく呼吸ができない場合などに人工呼吸器の機器を使い、酸素や空気を肺に送る
酸素療法	呼吸機能の低下が原因で体内の酸素が不足している場合、酸素濃縮器の機器を使い、酸素を補う
パルスオキシメーター	パルスオキシメーターは、酸素療法を行う際や人工呼吸器を使う時に呼吸状態を把握するためのモニタリング機器
気管切開	呼吸機能の低下が原因で口や鼻から十分に呼吸ができない、栄養が摂れない場合などに気管を切開して機器を装着する
導尿	自己での排尿が困難な場合に膀胱にチューブを入れて尿を出す

\* 平成30年厚生労働省統括官付政策評価官室 アフターサービス推進室

「医療的ケアが必要な子どもと家族が、安心して心地よく暮らすために」より一部抜粋